

## 国土交通大臣賞

受賞者名

株式会社 竹中工務店 東京本店  
丸の内パークビルディング・三菱一号館新築工事

所在地

東京都江東区

受賞テーマ

ゼロエミッションをめざし環境保全に貢献する

- 地球にやさしくつくる (Sustainable Works) -

同プロジェクトは「丸の内再構築」の第二ステージの第一弾の建築であり、大手町・丸の内・有楽町を有機的に結びつけるシンボリックな商業施設となる。これを踏まえ「地球にやさしくつくる」をコンセプトに掲げ、(三つの建物の解体工事とそれに続く新築工事において) 3R活動を中心とした様々な環境活動に取り組んだ。

### 1. リデュース (発生抑制) 活動

特殊形状の建物であることから、多量の廃棄物が発生することが予想され、作業所方針に総排出量の原単位目標(施工面積当りの廃棄物量) 14.0 m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>を掲げ、資材の無梱包化、プレカット等の様々な活動に取組み、最終的に 12.8 m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>となり目標に対し更に 8.9%削減した。

### 2. リユース (再利用) 活動

- ・既存建物のOAフロアのうち、転用可能なもの約 3,000 m<sup>2</sup>分を別の作業所の本体に再利用した。
- ・解体工事より発生した既存建物のコンクリート塊を弊社独自技術による高品質再生骨材「サイクライト」に再生し、新築建物の粗骨材として約 200 m<sup>3</sup>採用した。
- ・同建築主所有の別物件(旧新丸ビル)解体工事の際、回収・保存していた歴史的価値の高いガラス 213 枚を同プロジェクト三菱一号館の外装建具の窓ガラスに使用した。また、旧三菱一号館の解体時に保管されていた外壁窓枠石、内部階段手摺石、内部マントルピース石、内部マントルピース焚口金物、屋根突針部銅球も三菱一号館に使用した。

### 3. リサイクル (再資源化) 活動

同社東京本店標準ルールである「巡回回収システム」に基づき徹底分別を実施しリサイクル率約 99%を達成した。

旧新丸ビル解体時に回収した特殊ガラスを解体工事に先立ち、軽量コンクリート製のOAフロアを回収し、再利用を行っています。



ガラス加工状況

使用箇所



旧三菱一号館の外壁窓枠石、内部階段手摺石、内部マントルピース石、内部マントルピース焚口金物、屋根突針部銅球についても新築建物に採用しました。